

地 黄

シタノデアラウ、今ハ磯城郡安倍村附近ヲ中心トスルガ近年支那カラ輸入スル品ニ價格デ押サレテ年々衰微スルノハ甚ダ残念ナコトデアアル、品質ハ日本産ノ方ガ概シテ優良デアアル



あかやぢわう

(Rehmannia glutinosa LINDL. var. purpurea MAKINO.)

記シタ者ハ常陸筑波山ノ森林中朽木ノ上ニ發生シタ者デアアル

○地 黄

藥學博士・刈 米 達 夫

藥用植物中觀賞ニ值スルモノモ少ナク無イガあかやぢわうモ亦其ノ一デ獨特ノ風趣ヲ持ッテ居ル、あかやぢわうノ根ハ地黄ト稱シ重要ナ漢方藥デ現今モ賣藥ニ多量ニ用ヒラレル爲本邦各處ニ栽培シ殊ニ奈良縣ハ其ノ主產地デアアル
奈良縣下ニ於ル地黄ノ栽培ハ可ナリ古クカラ行ハレテ居ルモノラシイ、同縣高市郡眞菅村ニ地黄(大字)トイフ處ガアル、今ハ此處ニハ全ク地黄ハ無イガ昔ハ盛ニ栽培

地 黃

地黃ハ多濕ナル土地ヲ甚ダ忌ムモノデアツテ奈良縣下ノ栽培地デハ常ニ丘腹ノ傾斜地ヲ選ミ傾斜面ニ沿フテ上下ニ縱溝ヲ設ケ之ト五〇度位ノ角度ヲナシテ間隔五尺位ニ斜溝ヲ設ケ即チ↓ノ狀トナシ排水ニ便シ其間ニ植條ヲ作ル、植付ハ六月下旬晴天ヲ選ビ株間約四寸トスル、植付後ハ敷草ヲ行ヒ苗ヲ保護スル、施肥ハ植付前ト發芽後トニ少量、十月頃根ノ盛ニ發育スル時期ニハ特ニ充分ノ肥料ヲ與ヘル、大體ノ標準ハ反當下肥四〇〇貫、油粕四〇貫、木灰一〇貫位、普通ノ作物ヨリモ可ナリ多量ヲ要スル、收穫ハ十一月下旬ヨリ翌春三月迄大體十二月頃ガ宜シイ、根ヲ掘リ葉ヲ除キ土ヲ拂フテ乾燥スル、反收ハ生デ約四百貫、上作ハ六百貫ニ達スル、此根ハ通常次ノ三種ニ選リ分ケラレル

層地黃 苗トシテ用ヒタ根並ニ根ノ細小ナ部分デ劣等品トスル

山產地黃(やまなりぢわう) 中等品

一印地黃(いちじるしぢわう) 肥大根デ最良品トスル

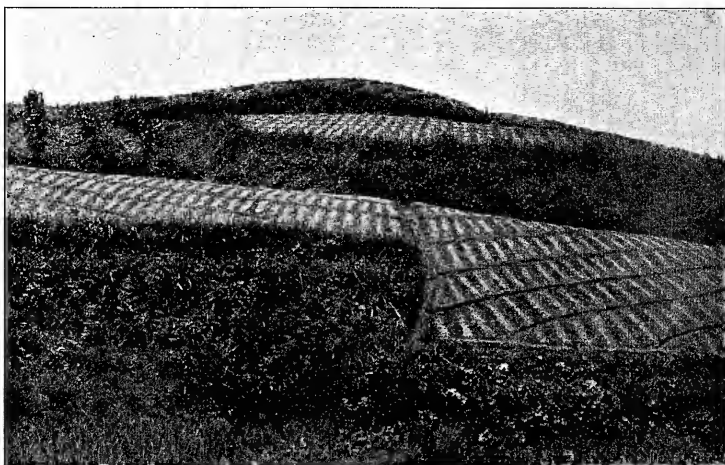
尙此内カラ中等大ノ强健ナ根ヲ取り分ケ地中ニ埋メテ貯藏シ次作ノ苗トスル、植付ノ際ハ之ヲ取り出シテ首尾兩端ヲ切り去リ長サ二寸位ニシテ植付ケルノデアル

地黃ノ調製ニハ生地黃、乾地黃、熟地黃ノ三種アリ、陰干ニシタルモノガ生地黃、陽乾シタモノガ乾地黃、蒸乾シタモノガ熟地黃デアル、奈良縣ノ産ハ主トシテ乾地黃トスル

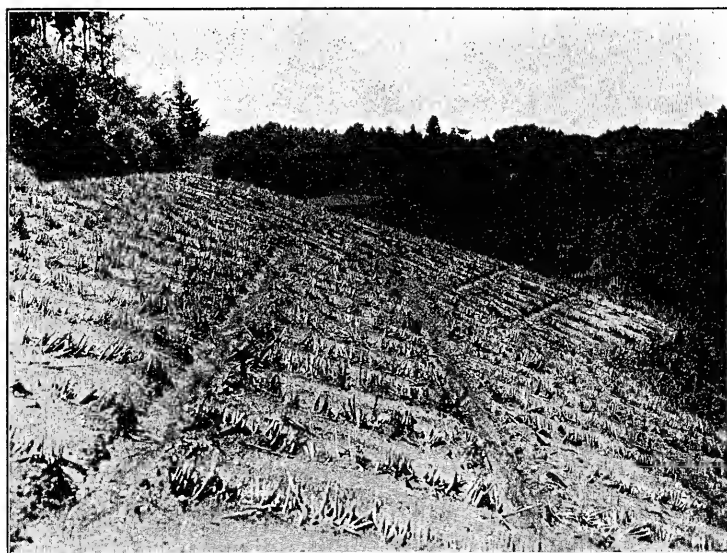
地黃トイフ名ノ由來ニ就テ本草綱目ニ次ノ如ク書イテアル、「生ノ者ヲ水ヲ以テ浸シ之ヲ驗スルニ浮ブ者ヲ天黃ト名ケ、半浮半沈ノ者ヲ人黃ト名ケ、沈ム者ヲ地黃ト名ケ、藥ニ入ルニハ沈ム者ヲ佳ト爲シ半バ沈ム者之ニ次グ、浮ブ者ハ堪ヘズ」

地黃ハ漢方ニ補血強壯藥トシ好ンデ結核性ノ衰弱ニ用ヒラレタ、又吐血、鼻血、腸出血等ニ止血藥トシテ内用シ又外傷ノ出血ニ搾汁ヲ塗附スル、婦人病ニモヨク之ヲ用ヒ古來婦人病ノ良方トスル四物湯ニハ當歸、芍藥、

地
黃



地 黃 畑 ノ 遠 望



地 黃 畑

(奈良縣磯城郡安倍村)

地黃、川
芎ヲ配シ
テアル
備後鞆津
ノ名産ニ
十六味地
黃保命酒
トイフ甘
味酒ガア
ル、又何
處カノ名
産ニ地黃
飴トイフ
ノガアル
ガ何レモ
強壯藥ノ
意味ニ於
テ用ヒタ
モノデア

てんなんしやうノ芽生ニ就テ述ベル

ラウ

地黃ハ普通ニぢわうト稱スルガ上古デハ之レヲさほひめト呼ンダコトガ延喜式ニアルト本草綱目啓蒙ニ出テ居ル、之レニしろや(白矢)トあかや(赤矢)トガアツテしろやノ方ガ上品トノコトデアルガコレハ眞ニ稀レナ品デ今日デハメツタニ見ラレナイ、普通ノ品ハあかやノ方デ今大和ナドニ作ラレテ居ル品ハ皆是レデアル、玆ニ面白イコトハ此しろやぢわうニ曾テマキシモキツチ氏ガ日本ノ栽培品ニ基キ *Rehmannia lutea* Maxim. ノ學名ヲ與ヘタコトデアル、若シ之レヲ大和邊ノ何レカニ見付ケ出シタラ大切ニ保護シ且ツ其株ヲ繁殖サスコトニ努力セラレンコトヲ切望スル、其ノ圖ハ^乙本草會物品目錄(天保六年出版)並ニ草木圖說ニ出テ居ル

〇てんなんしやうノ芽生ニ就テ述ベル

東北帝國大學理學部生物學教室 中 島 庸 三

てなんしやう科ニ屬スル *Arisaema* 屬ナルてんなんしやう(天南星)ノ芽生ニ就テ觀察シタ所ヲ左ニ報告スル、該植物ノ果實ハ特異ナ形狀色彩ヲ呈スルノデ吾人ノ注目ヲ惹ク、赤色ナ果内ヲ除去スルト球形ニ近イ白色ノ種子ガ得ラレル、一果穗ヨリ得ラル、數ハ其發育ノ狀態ニ依テ頗ル區々デアルガ余ガ陸前仙臺附近ニテ數年間採集シタモノ、中デ七百數十粒ノ種子ヲ得タノガ最モ大キナモノデアッタ、種子ノ形狀ハ百合科ノ漿果ヲ結ブ種類ノモノニ似テ居ル、種子ヲ縱斷シテ見ルト胚ガ胚乳内ニ嵌入シテキルノガ見ラレル(圖3)、種子ノ保生期間ニ就テハ未ダ實驗スルニ至ラヌガ採集シテカラ餘リ時日ヲ經過セヌ中ニ播イタ方ガ好イヤウデアル、數日或ハ數週間室内乾燥ノ後播種スルト翌年四五月頃一齊ニ發芽スル、發芽ノ當初ノ狀況ハ百合科ナドノモノト殆ド同ジデ單子葉ノ先端ガ貯藏組織吸收器官トナリテ胚乳内ニ留マリ其ノ營養ニヨリテ球莖ヲ形成スル、球莖ノ下部ニハ數條ノ根ヲ發生スル(圖4)、是レマデハ普通一般植物ニ見ル發芽ノ過程ト何等變ツタ點ヲ認メラレナイガ